

漁海況情報

第602号(令和4年8月12日発行)

発行: 山形県水産研究所 〒997-1204 鶴岡市加茂字大崩594
 TEL0235(33)3150 FAX0235(33)0379
 ホームページ: <http://www.pref.yamagata.jp/ou/norinsuisan/147010/>

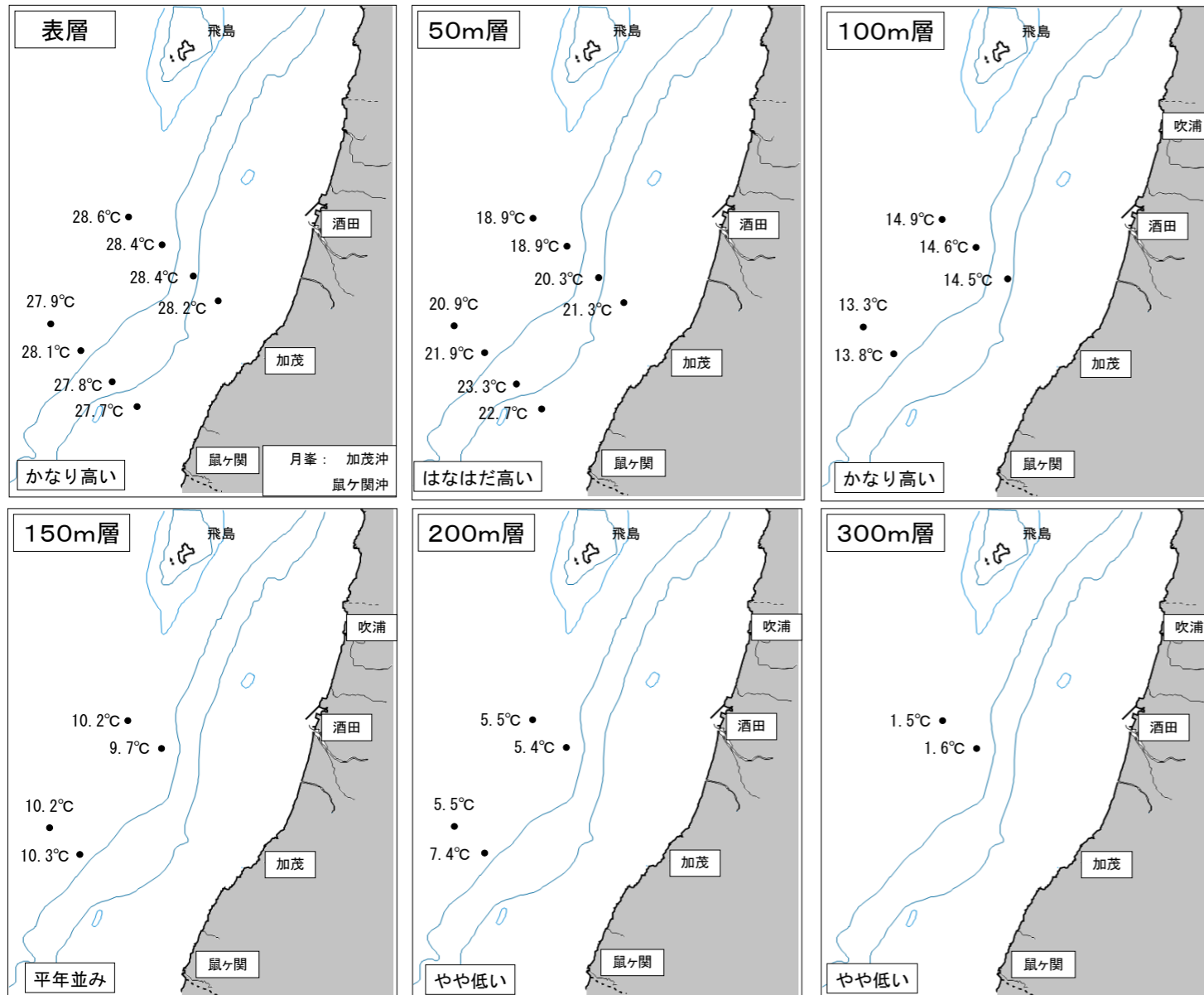
- 庄内総合支庁水産振興課「月峯」は、8月2日に沿岸の水温観測を実施しました。その結果、表層および100m層は「かなり高い」、50m層は「はなはだ高い」、150m層は「平年並み」、200m層および300m層は「やや低い」でした。
- 7月の地先水温は、鶴岡市加茂(水産研究所)、鶴岡市三瀬(栽培漁業センター)ともに「はなはだ高い」でした。
- 国立研究開発法人 水産研究・教育機構は、「2022年度第2回日本海スルメイカ長期漁況予報(8月~12月)」を発表しました。
 - ・今期の全体の来遊量は前年および近年平均を下回る。
 - ・本州北部日本海では来遊量は前年並で近年平均を下回る。漁場は形成されるが、近年と比べて散発的。
 - ・沖合域では来遊量は前年および近年平均を下回る。漁場は近年と比べて形成されにくい。
- 8月9日現在本県沿岸域では大型クラゲは確認されていませんが、東シナ海の発生量は昨年より多く、西日本においてまとまった入網報告があります。今後の情報にご注意ください。

沿岸25海里定点各層別の平均水温

単位:°C

	表層	50m層	100m層	150m層	200m層	300m層
本年	28.1	21.0	14.2	10.1	6.0	1.5
前年差	-0.0	+2.0	-1.5	-0.9	+0.7	-0.1
平年差	+2.3	+3.8	+1.5	-0.3	-1.0	-0.4
評価	かなり高い	はなはだ高い	かなり高い	平年並み	やや低い	やや低い
(前月評価)	(はなはだ高い)	(かなり高い)	(かなり高い)	(かなり高い)	(かなり高い)	(平年並み)

評価の表現: "平年並み"は約2年に1回, "やや"は約4年に1回, "かなり"は約10年に1回, "はなはだ"は約20年以上に1回の出現確率を表しています。



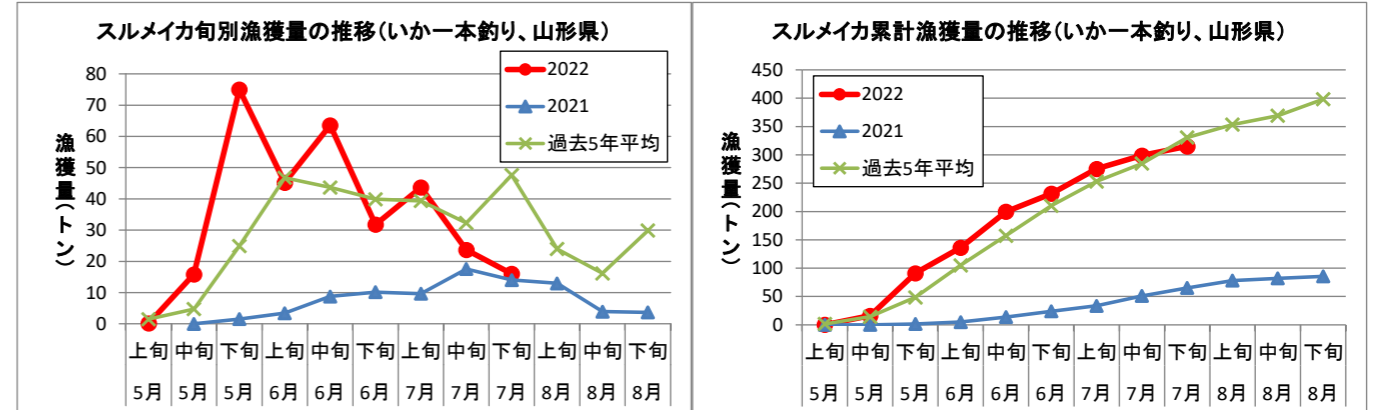
地先平均水温(7月)

単位:°C

場所	水温	前年差	平年差	評価
水産研究所(鶴岡市加茂港内)	26.1	+1.0	+2.3	はなはだ高い
栽培漁業センター(鶴岡市三瀬地先)	24.8	+1.3	+2.2	はなはだ高い

沿岸スルメイカ(小型いか釣り)の状況

- ・5~7月までの本県の漁獲状況は、延べ565隻(前年比232%、平年比103%)、重量315トン(前年比484%、平年比95%)で、平年並みとなっています。(※「平年」は2017年から2021年の5ヶ年平均)



第2回 日本海スルメイカ長期漁況予報

国立研究開発法人 水産研究・教育機構は、7月29日に、「2022年度 第2回 日本海スルメイカ長期漁況予報」を発表しました。

- ・今後の見通し(8月~12月)
- 今期の全体の来遊量
 - ：前年および近年平均を下回る。
- 本州北部日本海側
 - ・来遊量・漁況：前年並で近年平均を下回る。
 - ・漁期・漁場：漁場は形成されるが、近年と比べて散発的。
- 沖合域
 - ・来遊量・漁況：前年および近年平均を下回る。
 - ・漁期・漁場：近年と比べて漁場が形成されにくい。

※近年平均は最近5年間(2017年~2021年の平均)

大型クラゲ情報

- 東シナ海の大規模クラゲ発生量は昨年より多め。
- 西日本では長崎県対馬(定置網)でまとまった入網(500個/日)報告があり、山陰では鳥取県沖で若干数の出現が確認されています。(8月9日時点)
- 過去の九州と山陰の初認日から予測した山形県沿岸の出現日
 - 9月11日(誤差範囲:8月29日~9月24日)(基準:九州海域)
 - 9月4日(誤差範囲:8月13日~9月26日)(基準:山陰海域)
- 水産研究所では引き続き、大型クラゲのモニタリング・情報収集を実施していきます。



7月の漁況

○延べ操業隻数は2,423隻で前年比85%、総漁獲量は272トンで前年比67%でした。
 ○採貝藻漁業の漁獲量は39トンで前年比100%でした。イワガキおよびイガイは前年を上回り、アワビおよびサザエは前年を下回りました。イギスおよびモズクは前年並みでした(イワガキは「その他の漁業」を含む)。
 ○定置網漁業の漁獲量は7.7トンで前年比62%でした。ブリ類、ウマヅラおよびトビウオは前年を下回りました。アジは前年並みでした。
 ○はえなわ漁業の漁獲量は14トンで前年比157%でした。タイ類、ブリ類、ノドグロ(アカムツ)およびメバル類は前年を下回りました。
 ○その他の漁業では、あまだいさし網漁業のアマダイおよびかご漁業の浅海性バイ類は前年を上回り、いか一本釣漁業のスルメイカ、さし網漁業のネジリ(ウシノシタ類)、サザエおよびキスは前年を下回りました。ごち網漁業のタイ類、一本釣り漁業のメバル類、ばいかご漁業の深海性バイ類は前年並みでした。

* 前年比は平成29～令和3年までの平均値と比較した値です。
 * 前年比85%～115%は「前年並み」、前年比84%以下は「前年を下回る」、前年比116%以上は「前年を上回る」としました。
 * 小数点以下を四捨五入して表示しているため、合計が合わない場合があります。

全漁業支所別漁獲量

支所	吹浦	飛鳥	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	184	308	442	193	309	268	133	586	2,423	104%	85%
漁獲量	9,442	15,312	90,783	62,780	21,185	15,757	4,099	53,068	272,425	97%	67%
前年比	94%	159%	68%	104%	104%	102%	153%	171%	97%		
前年比	92%	90%	43%	89%	91%	83%	103%	113%	67%		

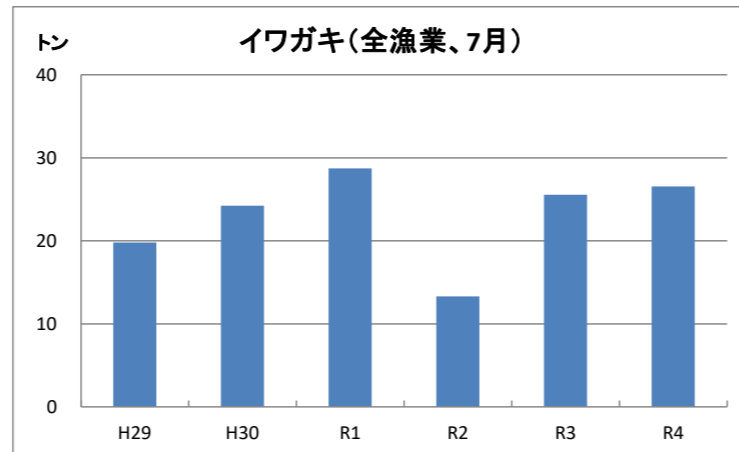
採貝藻漁業

支所	吹浦	飛鳥	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	139	147	82	97	146	108	91	377	1,187	104%	108%
イワガキ	6,057		5,827	3,664	2,784	1,232	353	6,648	26,564	104%	119%
アワビ	26	5			11	3	1	4	51	85%	31%
サザエ	58	3,082	64	268	341	217	188	1,600	5,817	70%	59%
イガイ	95		505	47	383	17	666	866	2,579	102%	149%
イギス				22	47			520	589	91%	96%
モズク				74	1,246	487	193	68	2,068	42%	95%
その他	244		86	185	273	54	11	82	935		
計	6,480	3,087	6,482	4,259	5,085	2,009	1,411	9,789	38,603	89%	100%
前年比	80%	106%	77%	86%	69%	90%	60%	135%	89%		
前年比	77%	65%	89%	125%	105%	92%	83%	158%	100%		

※当所の採貝藻漁業の隻数と漁獲量は、その他の漁業のイワガキを加えた値です。

定置網漁業

支所	加茂	由良	豊浦	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	2	20	3	25	58%	48%
ブリ類	134	1,156	763	2,053	106%	57%
アジ	195	2,887	20	3,102	87%	108%
ウマヅラ	24	53	43	120	50%	36%
トビウオ	33	94		127	109%	11%
その他	146	1,944	210	2,299		
計	532	6,133	1,036	7,701	86%	62%
前年比	37%	88%	176%	86%		
前年比	35%	85%	42%	62%		

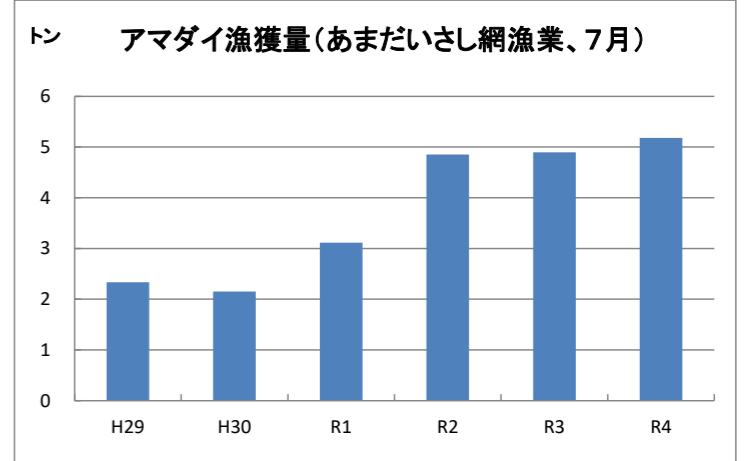
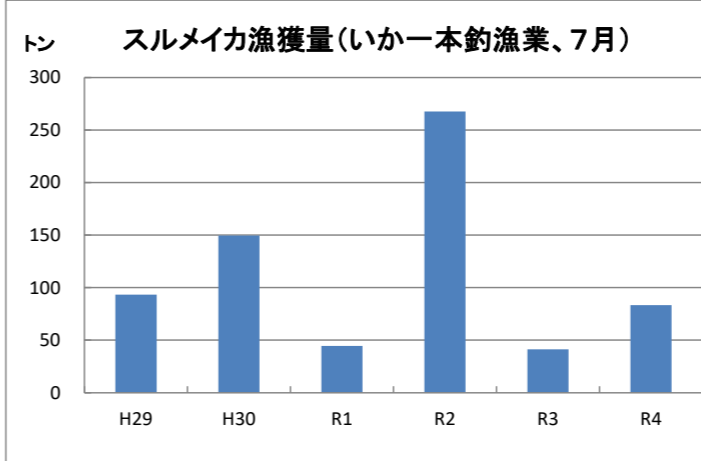


はえなわ漁業

支所	飛鳥	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	45	15	4	24	31	24	48	191	225%	82%
タイ類	75	3	22	61	91	59	97	407	188%	38%
ブリ類	17			7	6	8	20	58	95%	32%
クロマグロ(30kg未満)	3,238	826	23	596	610	1,245	947	7,485		
クロマグロ(30kg以上)	1,483	125						1,608		
ノドグロ(アカムツ)	1			77	16	187	209	490	205%	75%
メバル類	213	12	10	90	19	31.2	58	433	330%	41%
その他	141	54	71	758	605	812	1,380	3,820		
計	5,169	1,020	125	1,590	1,347	2,342	2,711	14,303	698%	157%
前年比	4307%	574%	203%	1704%	702%	1748%	256%	698%		
前年比	266%	109%	80%	292%	192%	128%	97%	157%		

その他の漁業

漁業種類	いか一本釣漁業	さし網漁業	あまだいさし網漁業	ごち網漁業	一本釣り漁業	かご漁業	ばいかご漁業		
延べ操業隻数	152	243	49	111	171	170	18		
総漁獲量(kg)		6,606	5,738	33,136	3,325	15,286			
前年比		81%	101%	104%	67%	147%			
前年比		60%	135%	88%	63%	174%			
対象魚種	スルメイカ	ネジリ(ウシノシタ類)	サザエ	キス	アマダイ	タイ類	メバル類	浅海性バイ類	深海性バイ類
漁獲量(kg)	83,390	590	1,012	197	5,182	29,318	828	15,277	7,370
前年比	202%	72%	40%	43%	106%	108%	62%	147%	73%
前年比	70%	70%	22%	40%	149%	93%	107%	174%	93%



最上丸の調査予定(8月中旬～9月上旬)

- ・海洋観測を行います。
- ・マガレイ等の稚魚調査を行います。
- ・加茂沖の人工魚礁の調査を行います。
- ・明石礁の魚群分布・海藻植生調査を行います。
- ・スルメイカの沖合漁場探索調査を行います。

みなさま、調査への御理解・御協力
 よろしくお願ひします。

